

鈴木邦男

右からも左からも考える人

「普通は年齢とつたら温和になるのに田原さんは年齢とともにどんどん狂気が増してますね」



思想の達人に、たちに聞く
日本の名誉と恥、右と左、ときどき能天気

この夏、日本中を巻き込んで大論争が繰り広げられた安保法制問題。そして、そのなかで浮き彫りになった右と左の対立。ネットやSNSを介してさらに大きくなったあの騒動は、我々日本人に何をもたらしたのか？そこで、一匹狼のジャーナリストとして長年闘い続けてきた田原総一郎と、「脱右翼宣言」をした「水会」の顧問を辞任したばかりの鈴木邦男、日本を代表する言論の武芸者であるふたりに、「安保法制問題を通して見た、いまの日本の名誉と恥とは何か？」を語ってもらった。

司会／構成／八木賢太郎
写真／小林善夫
立ち合い人／山口日景

田原総一郎

右からも左からも糾弾される人

「いまの世の中は、みんな話せばわかる」と思いすぎてる。これは鈴木さんが悪いんですよ！」

